

事業再評価調書

[事業種別] 事業名 【再評価理由】		[新大学キャンパス整備事業] 新大学キャンパス整備事業 【⑤ その他市長が特に必要と認めるもの】					
担 当		経済戦略局企画総務部総務課（大学支援担当）（電話番号：06-6615-3777）					
1 事業目的		令和2年1月（令和2年7月変更）、新大学の方向性や教育研究組織、キャンパス整備の方針等を示した「新大学基本構想」を府・市・法人で取りまとめました。 また、大阪市立大学と大阪府立大学の統合による新大学設置を令和4年（2022年）4月に行うことが盛り込まれた中期目標変更に係る議案が府市両議会で可決されたことにより、新大学の設置・開学時期が明確に示されることとなりました。 これらを踏まえ、魅力ある新大学の実現のため、森之宮の都心新キャンパスや既存キャンパスの整備を本格的に進めていくこととしています。					
2 事業内容		【計画（主な施設）】					
			森之宮 1 期	森之宮 1.5 期	阿倍野	杉本	中百舌鳥
		建物構成	新棟（基幹教育、文学、リハビリ、生活科学（栄養）	新棟（情報学）	新棟（看護）	新棟、改修（理学）	新棟、改修（工学、情報学）
		延床面積	77,175 m ²	8,000 m ²	17,609 m ²	8,531 m ²	25,620 m ²
		整備手法	D B 方式	未定（定期借地方式を検討）	E C I 方式	D B 方式他	D B 方式他
3 事業の概況		事業開始 令和元年度 事業完了予定 令和 10 年度 ※森之宮 1 期キャンパスは、令和 7（2025）年秋開設予定 全体事業費 918 億円 既投資額 110 億円 変更点：—			進捗率（事業費ベース） 12% 工事進捗率（面積ベース） —% 用地取得率（面積ベース） —%		

事業の必要性の視点	4 事業の必要性の評価 A～C	・2022 年の開学後、教員・学生の教育研究に影響が出ないよう早期の整備が必要である（大学設置申請書類にも記載している）。 ・同種分野で集約化を行う学部（工学、理学、看護学）については、同一キャンパスで教育を行う必要があることから、集約化を優先的に進める必要がある。
		【費用便益分析結果】 本事業の投資効果を分析する手法は確立されていない。
	5 事業の実現見通しの評価 B	【森之宮 1 期・杉本町・中百舌鳥・阿倍野キャンパス整備事業】 森之宮 1.5 期キャンパス整備以外の事業については、基幹教育や同一学部で複数のキャンパスに分かれる状態の解消に向け、着実な事業進捗に努めていく。
	6 事業の優先度の視点の評価 B	・2022 年の開学後、教員・学生の教育研究に影響が出ないよう早期の整備が必要である（大学設置申請書類にも記載している）。 ・同種分野で集約化を行う学部（工学、理学、看護学）については、同一キャンパスで教育を行う必要があることから、集約化を優先的に進める必要がある。
7	特記事項	—
	対応方針 (案)	事業継続 (B)
8	(理由)	・2022 年の開学後、教員・学生の教育研究に影響が出ないよう早期の整備が必要である（大学設置申請書類にも記載している）。 ・同種分野で集約化を行う学部（工学、理学、看護学）については、同一キャンパスで教育を行う必要があることから、集約化を優先的に進める必要がある。
9	今後の取組方針(案)	【森之宮 1 期・杉本町・中百舌鳥・阿倍野キャンパス整備事業】 森之宮 1.5 期キャンパス整備以外の事業については、基幹教育や同一学部で複数のキャンパスに分かれる状態の解消に向け、着実な事業進捗に努めていく。
		【森之宮 1.5 期キャンパス整備事業】 森之宮 1.5 期キャンパス整備事業も含め、大阪城東部地区 1.5 期開発全体として、今般実施したマーケットサウンディングの内容を踏まえつつ、大阪府、公立大学法人大阪及び大阪市高速電気軌道株式会社（大阪メトロ）とともに検討を進め、2028 年のまちびらきに向けて、全体計画、開発スケジュール等を定めていくこととしており、着実な事業進捗に努めていく。